

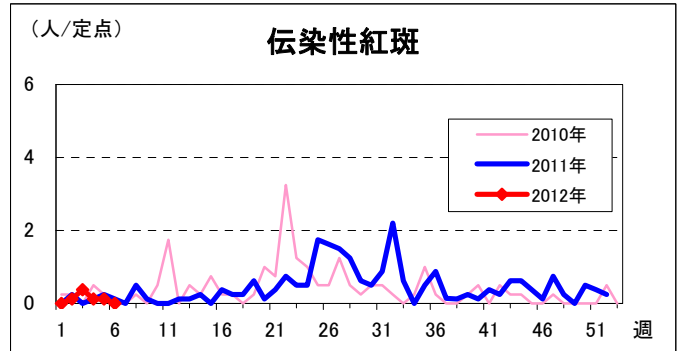
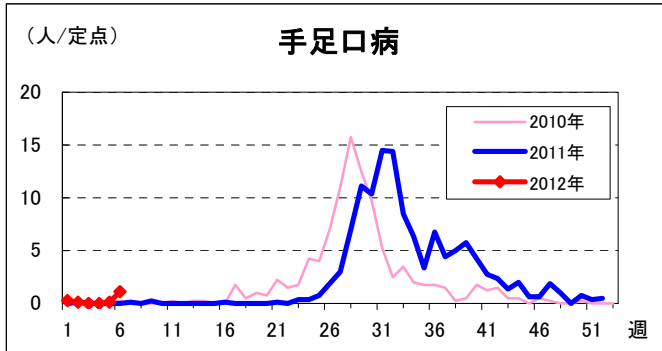
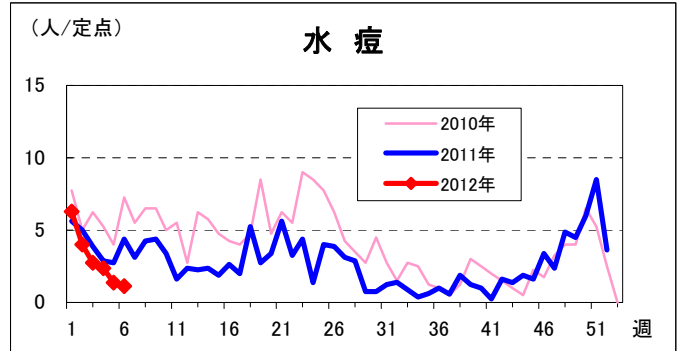
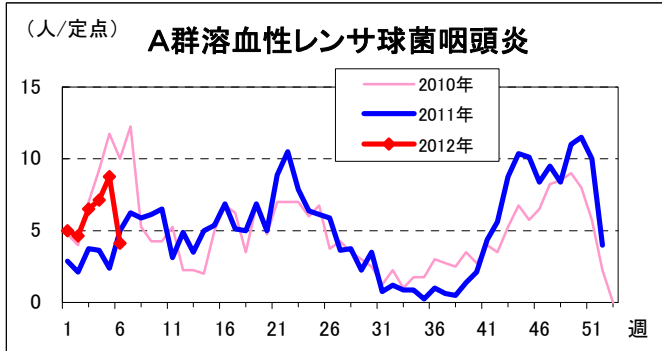
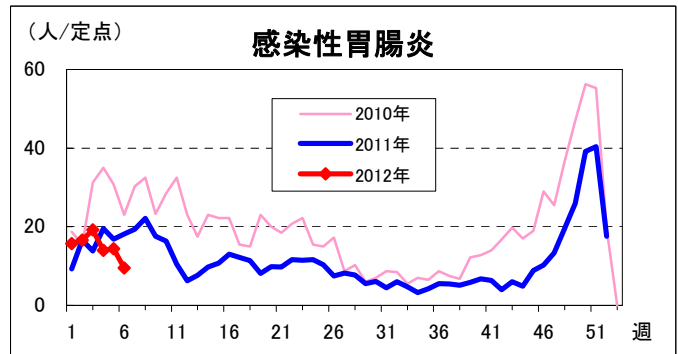
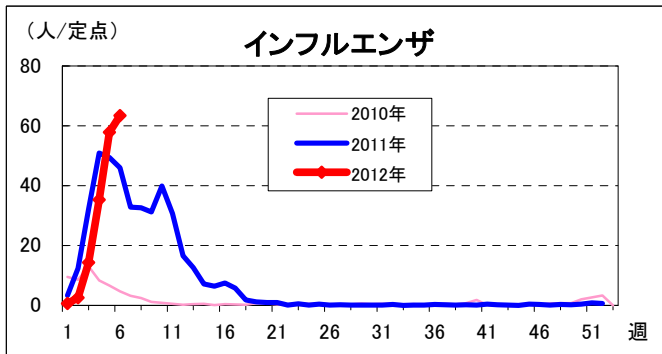
Infectious Diseases Weekly Report City of Machida

2012年2月15日

感染症発生動向調査 / 町田市感染症週報 2012年 第 6 週 (2月6日 ~ 2月12日)

町田市保健所 保健対策課 〒194-0021 町田市中町2-13-3
電話:042(722)7636 FAX:042(722)3249
E-mail ikiiki080@city.machida.tokyo.jp

○ 一定点医療機関あたり報告人数



この週報で使われている数字は、町田市内8箇所(インフルエンザは13箇所)の定点医療機関から対象疾患の患者数を週単位で報告していただき、その合計報告数を医療機関の数で割った値です。正確な市内の患者数ではなく、対象疾患の地域での流行状況と発生動向を把握するためのものです。

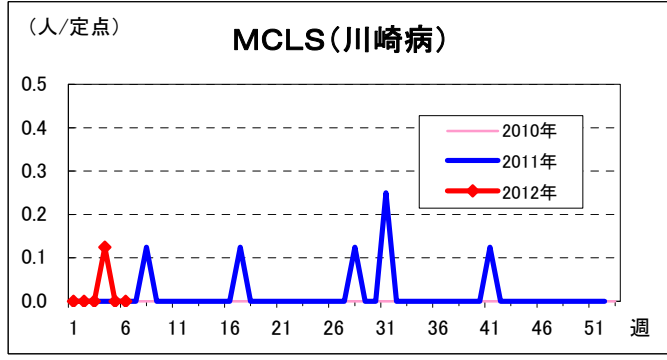
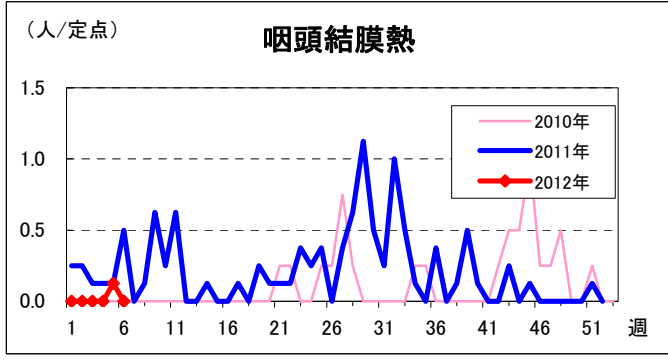
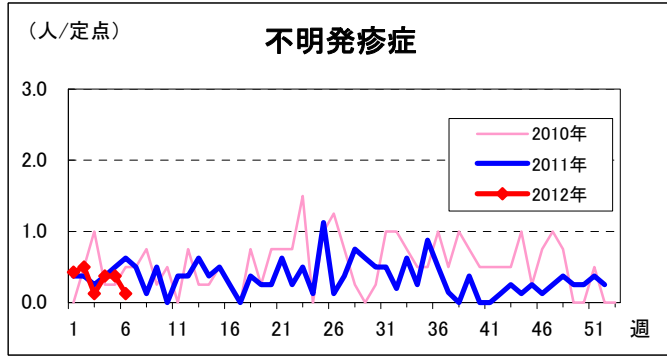
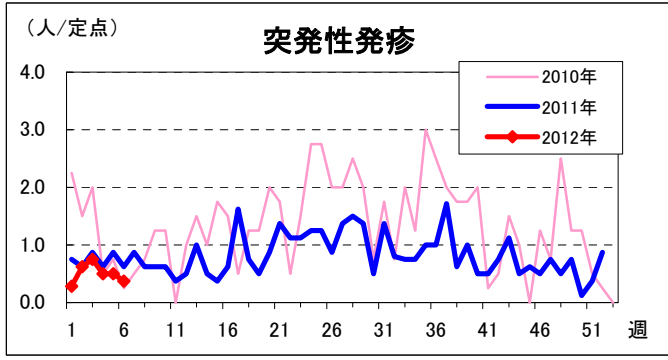
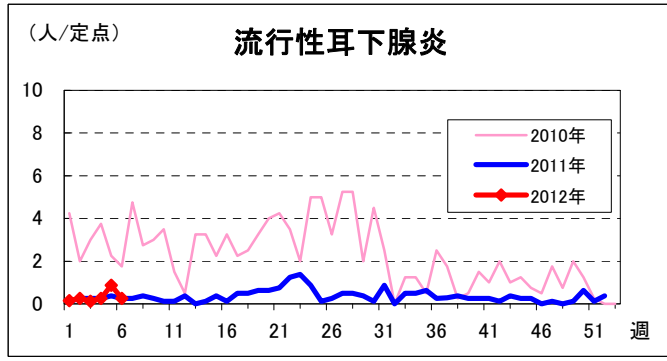
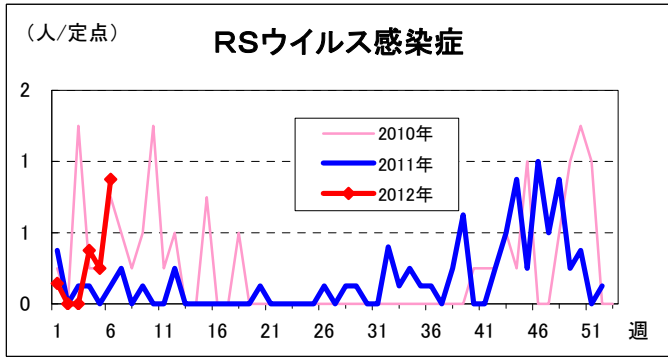
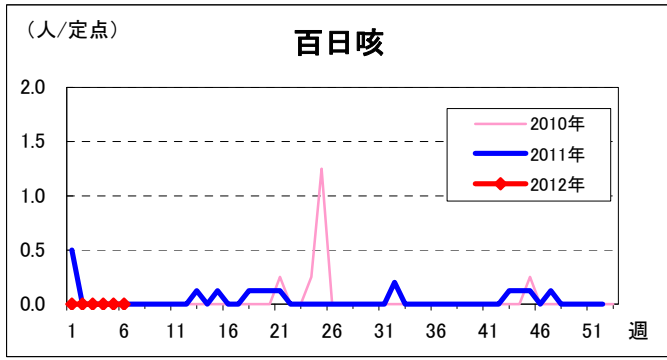
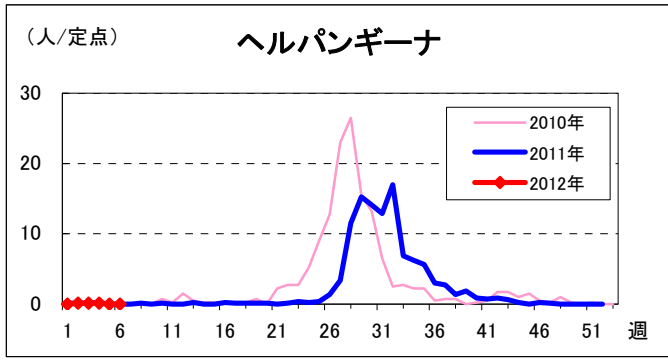
今週の動向 (6 週) ~ 8定点医療機関(インフルエンザは13定点)からの報告です ~

○インフルエンザの1医療機関あたりの報告数は、第5週で57.9人、第6週で63.5人と急増しており、学校や福祉施設などでの集団感染の報告も増加しています。東京都では第5週に、1999年の感染症発生動向調査開始以来、最高値を記録しました。町田市内ではインフルエンザB型も増加傾向です。今後の動向に十分注意し、感染拡大の予防に努めましょう。

○RSウイルス感染症の報告が増加傾向です。

【第1週～今週までの麻しん、風しんの発生件数】

麻しん 0件 風しん 0件



○ 定点把握報告数

疾患名	1週	2週	3週	4週	5週	6週	2012年1週からの累計
RSウイルス感染症	1			3	2	7	13
不明発疹症	3	4	1	3	3	1	15
MCLS(川崎病)				1			1
インフルエンザ	8	33	186	459	752	825	2263
咽頭結膜熱					1		1
A群溶レン菌咽頭炎	35	37	52	57	70	33	284
感染性胃腸炎	110	133	154	112	115	76	700
水痘	44	32	22	19	11	9	137
手足口病	2	1			1	9	13
伝染性紅斑		1	3	1	1		6
突発性発疹	2	5	6	4	4	3	24
百日咳							0
ヘルパンギーナ		1	1	1			3
流行性耳下腺炎	1	2	1	2	7	2	15
急性出血性結膜炎							0
流行性結膜炎							0

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律から、感染症発生動向をお知らせします。

なお、東京都、厚生労働省分につきましては、下記のホームページでごらんになれます。

1 東京都感染症方法センターのホームページ

<http://idsc.tokyo-eiken.go.jp/index-j.html>

2 厚生労働省/国立感染症研究所感染症情報センターのホームページ

<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>

アレルギー週間

日本アレルギー協会は、2月20日を「アレルギーの日」と制定し、その前後1週間で「アレルギー週間」として様々な活動を行っています。アレルギー対策は、環境整備が基本です。第6週では、皆様の日常生活に役立つ環境整備方法をお知らせします。

室内環境対策(ダニ・カビ)

気管支ぜん息やアトピー性皮膚炎などのアレルギー疾患の中には、ダニのフンやカビなど(いわゆるハウスダスト)を吸い込んで、アレルギー症状を引き起こすものがあります。ダニやカビはどこにもいるものですが、増えすぎないように環境づくりが大切です。



※絵・・・引用:東京都アレルギーホームページ 室内環境対策(ダニ・カビ)より抜粋

1 ダニ対策のポイント

ダニは乾燥に弱く、増殖に60%以上の湿度が必要です。ダニを増やさないためには、寝具類は日光や布団乾燥機でよく乾かすことが重要です。また、ダニだけでなく、ダニのフンや死がいもアレルギーとなるため、じゅうたんや畳の掃除機がけは、ゆっくりノズルを動かしながら吸引し、アレルギーを吸い取ります。寝具類は、干した後の掃除機がけが有効です。また、アレルギーは水で洗い流せるので、寝具類やぬいぐるみは洗える材質のものをを選び、定期的に洗います。



写真1 チリダニ(実体顕微鏡)

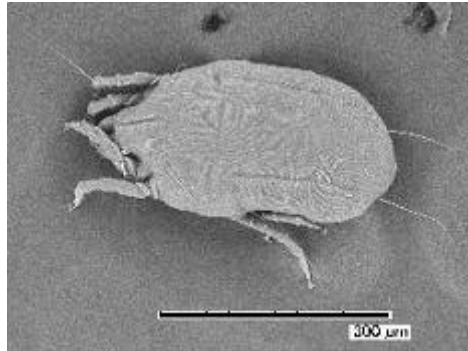


写真2 チリダニ(走査電子顕微鏡)

※写真1、写真2…提供:東京都健康安全研究センター 環境保健部

2 カビ対策のポイント

カビは、換気不足などの理由で湿度が高くなると発生します。天気の良い日の換気は、湿度を下げるため、カビ予防対策としてもっとも有効な方法です。換気不足となる押し入れなどの収納スペースは、スノコを利用して空気の通り道を作り、換気を促進しましょう。また、梅雨時など気候的に湿度が高まる季節では、除湿機やエアコンのドライ機能を活用し、湿度を下げるのも効果的です。

住まいの中では、浴室や台所など水蒸気を多く発生する場所があります。これらの場所には換気扇が設置されているので、使用後はすぐには止めず、十分換気することを心がけましょう。特に、浴室の湿気対策のため、風呂の水は使用後抜いておくことが重要です。

なお、薬剤を利用してカビの除去作業を行う際は、安全のために必ず十分な換気をしてください。また、作業にあたっては、カビ(孢子)が飛散して周りに広がらないように注意して、カビ除去剤(漂白剤)などで除去します。

～参考URL～

公益社団法人日本アレルギー協会 <http://www.jaanet.org/>